

## 高校卒業式

3月13日、高校の卒業式が行われました。この日、卒業を迎えたのは311名。卒業式にのぞむ3年生の顔は、本校での3年間、勉強やクラブ活動にと、一生懸命取り組んできた自信にあふれていました。

校長が式辞で述べたとおり、この学年は、多くのクラブが各種大会で優秀な戦績を残しました。特に、野球部は23年ぶりに夏の大会で埼玉県予選決勝まで勝ち進み、野球部関係者だけでなく、多くの卒業生、在校生の期待を集めました。決勝戦、大宮県営球場が立教ファンでいっぱいになった日が忘れられません。もちろん、野球だけではなくフェンシング部のインターハイ出場、サイクル部黒澤君のマウンテンバイク世界大会出場など、体育部、文化部ともがんばりました。

そしてなにより大切なのは、ひとりひとりが目標に向かって充実した学校生活を送れたこと、良き友人に恵まれたこと、そして希望に満ちて新しい夢への第一歩目を踏み出していること。そのことが、卒業生の表情に表れていたのではないのでしょうか。



### 卒業生を送る会(中学)・出発の会(高校)

卒業式、そして教室での最後のホームルームが終わった後、保護者主催の出発(たびだち)の会が立教大学新座キャンパス学生食堂で行われました。

担任の教員だけでなく、様々な関わりがあった教員や多くの保護者が参加し、多くの人で卒業生の門出を祝う盛大なものになりました。

校長、セントポール会会長の挨拶の後、

乾杯が行われ、立食形式で食事を取りながらの賑やかな会が始まりました。

クラスによっては、クラスメイトひとりひとりの色紙に寄せ書きをしているところもあれば、みんなで集まって写真を撮るところもあり、それぞれに別れを惜しみ、これから別々の進路に進む友人との高校時代最後の一時を楽しく過ごしました。



### 2009年度学校説明会日程

#### ○中学校

- ①9月27日(日)
  - 1回目: 9:30 ~ 10:30
  - 2回目: 11:30 ~ 12:30
- ②11月22日(日)
  - 1回目: 9:30 ~ 10:30
  - 2回目: 11:30 ~ 12:30

#### ○高校

- ①9月27日(日)
  - 13:30 ~ 14:30
- ②11月22日(日)
  - 13:30 ~ 14:30

※自家用車での来校はお断りします。

※参加申込は不要です。時間までに本校にお越し下さい。  
上履きは不要です。

#### 編集後記

今年の入学式、「桜が咲いている入学式なんて久しぶりだ」という声をよく聞きました。

本校キャンパスは多くの植物が植えられていますが、どのくらい種類があるかご存じでしょうか。実は、桜だけでも20種以上あり、その開花時期がそれぞれ違うため、2月の下旬から4月下旬まで、何かしらの種類の桜が咲いているそうです。本校は、毎年、入学式には桜が咲いているキャンパスなのです。

### Campus News Rikkyo Niiza 第45号

編集:立教新座中学校・高等学校 教務・入試広報課  
発行:立教新座中学校・高等学校

〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25 ☎048-471-2323(代表)



# Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス <http://niiza.rikkyo.ac.jp/>

<No.45>

## 特集 卒業式 & 入学式

### 入学式

4月8日(水)に、入学式が行われました。今年はこの日に合わせて咲いたと言わんばかりの満開の桜に迎えられ、中学生208名、高校生319名の新生が新たなスタートをきりました。在校生からの歓迎のことばに「自由の学府といわれてい

る本校で、のびのびと成長していきましょう」ということが述べられていたように、勉強にクラブ活動にと充実した学校生活を送り、大きく成長してくれることを期待しています。



### 特集ページ目次

- ・入学式 ..... P.1
- ・入学後ガイダンス ..... P.2
- ・入試の結果 ..... P.3
- ・卒業生の進路 ..... P.3
- ・西海先生より ..... P.5
- ・卒業式 ..... P.6



### 「ガンバレ、立教生！」

立教新座中学校・高等学校  
校長 西村 俊彦

新生の皆さん、入学おめでとう。多少の不安はあっても期待に胸を躍らせて今日の日を迎えたことと思います。立教新座で、皆さんは6年間、あるいは3年間を過ごすことになります。頭が柔軟で、心身共に成長するこの時こそ、勉強と部活動に励み、自分の能力や才能・感性を思いきり磨いてください。立教と他校との違いは、3つあります。

一つ目は、立教は「キリスト教に基づく人間教育」を行う学校である点です。これは、礼拝や、キリスト教の授業を通して、聖書を学び、聖歌を歌い、共に祈るということです。いつの間にか、キリスト教の教えが、皆さんの価値観や人生観に大きな影響を与えていることが分か

るでしょう。自分の好きな聖句を心に書き留めてください。因みに私が高校時代一番大切にしていた聖句は、「友のために命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」(ヨハネによる福音書15:13)というものです。

二つ目は、のびのびと自由に学校生活を送れるということです。

立教新座の環境は、皆さんの情操に大きな影響を及ぼしています。早春に梅が、4月には桜が、5月にはバラが咲き、秋には桜やモミジ、ポプラが黄(紅)葉し、四季の営みを感じさせてくれます。フィールドの東、北側の樹木は林を形成し、自然の美しさを織りなしてくれています。このような環境で自然美に対する造詣が

深まり、のびのびとした発想ができる人に成長することができるでしょう。

三つ目は、大学教育を受けるに値する基礎学力が身につけば「立教大学に推薦される」ということです。立教大学は10の学部と27の学科があり、皆さんは多方面の分野から好きな分野を選択し、専門的に勉強することができます。立教大学は、歴史と伝統の上に立ち、さらなる発展を目指している大学です。このような素晴らしい大学が皆さんが来るのを待ち受けていますから、中学校、高等学校では一に勉強、二に部活動に励み、自分の将来の夢を実現するように努力しましょう。楽しても得るものではありません。ガンバレ！立教生！

## 入学後のようす

### 新中1ガイダンス

中学1年生は、入学後4月9日から4日間をかけて本校のことをよく知るためのガイダンスを受けました。学校内全体のことを知るために学校探検を行ったり、クラブ紹介を聞き、どのクラブに入部しようか考えたり、学校生活のルールや各クラスで委員や係を決めたりと、新たな学校生活を始める準備の期間になりました。

### チャペルガイダンス

立教小学校からの入学生以外にはあまりなじみがないであろう、キリスト教について、チャペルについて、礼拝についての説明がありました。

初めてキリスト教に触れる生徒も多いなか、鈴木チャプレンからお祈りやチャペルの建物について話があり、熱心に耳を傾けていました。また、これから毎週行われる学年礼拝にそなえ、実際に式文にそって、お祈りを唱えたり聖歌の一部を歌う練習も行いました。

### 図書館ガイダンス

図書館での基本的なルールの他に、図書の分類についての話があり、また本の探し方、インターネットの利用やビデオ、音楽鑑賞についての説明を受けました。

本校の図書館は一日600人が訪れ、思い思いに時間を過ごすところです。今年の新入生も是非図書館を有効に利用して、多くの本を読み、自身の探究心を深めてもらいたいものです。



### 学校探検

ホームルーム教室のある2号館と入学式を行った体育館くらいしかまだ見ていない本校キャンパスを、担任の先生に案内してもらいました。普段はあまり入らない高校生の教室の方まで、静かに足を忍ばせて探検しました。これだけ広いキャンパスですので、どこに何があるのか覚えるのは大変かもしれませんが、自分の活動場所を多く見つけてもらえればと思います。



### 保健室・カウンセラーガイダンス

保健室ガイダンスでは、まず3つのルールについての説明がありました。1. 入室する時には挨拶をする。2. 要件は自分からはっきりと言う。3. 他の利用者に迷惑にならないように静かにする。

また、室内の設備の紹介では、高校生は、身長・体重を測りに来る生徒が多く、運動部の生徒は特に体脂肪を測りに来る人が多いんだよ、というような話もありました。

体調が悪い時、相談がある時、そして自分の成長を確認しに、遠慮せず利用しましょう！

### 高1新入生ガイダンス

入学式を翌日に控えた4月7日、高校の新入生ガイダンスが行われました。

この日登校したのは、この春から新しく立教新座の仲間になる、一般入試による113名、地域指定校推薦による13名の新入生たち。新しい制服に身を包み、少し緊張した様子で校舎に入ります。ロビーに掲示されている名簿で自分のクラスを確認し、教室に向かう姿も少し不安そう。



このガイダンスは、新入生のみなさんに、1日も早く本校の生活に慣れてもらうこと、学校生活の基本となる様々な施設の説明と、仲間作りの第一歩を踏み出すことが大きな目的です。



まず教室では、簡単な自己紹介が行われました。名前と出身中学校、趣味、入ってみたいクラブ活動など、思い思いの紹介をするうちに、少しずつ緊張がほぐれていくのが分かりました。

そのあと、図書館でのガイダンス。ここでは、司書教諭から図書館の各設備についての説明や、利用方法の説明がありました。なにしろ、蔵書数が14万冊ある図書館です。3年生になると卒業研究論文に取り組むことになります。図書館の使い方もしっかり覚えてもらわなければなりません。



チャペルでは、チャプレンから本校でのキリスト教について、



そしてここで行われる礼拝についての説明。ほとんどの生徒にとっては、キリスト教や教会と接するのは初めての経験となるはずですが、その荘厳な雰囲気から生徒たちは何を感じたのでしょうか。

このほか、養護教諭と学校カウンセラーによる保健室ガイダンスなど、登校初日から盛りだくさんのメニューとなりました。

入学式では、立教新座中学校からの仲間も一緒になり、いよいよ高校生活がスタートします。新入生のみなさん一人ひとりが胸に秘めた夢や希望に向かって、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

# チャペルだより

## 立教・セントポール

1874年(明治7年)2月3日、米国聖公会宣教師のチャニング・ムーア・ウィリアムズ主教は、東京築地居留地19番に私塾を開校し、英語と聖書を教えました。最初の生徒は4名あるいは5名だったと言われています。この小さな学校は「立教学校」と呼ばれました。今年、その時から135周年の節目の年になります。

それから8年後の1882年、築地居留37番に移転した本格的赤煉瓦校舎を「立教大学校」と称しました。その名称は新校舎中央3階外壁の石材に刻まれ、同時に英語名「セントポールズカレッジ」も並べられました。このセントポールとは、新約聖書に出てくる一世紀最大の伝道者と言われる、パウロという聖人の名前からとられたものです。

ウィリアムズ主教は「道を伝えて己を伝えず」という言葉の通りの生き方を貫きました。見せかけや名声のための善行を行うのではなく、そして自分自身を後世の人に誇るのではなく、聖書に示された真理の道を指し示し、伝え続ける生き方を、ウィリアムズ主教は生涯を通して貫かれたのです。このことは創立当初から“キリスト教に基づく教育”をうたってきた立教の建学の精神の中にずっと受け継がれています。

また立教は、「自由の学府」と言わ

れます。自由とは何でしょうか。何でもかんでもやりたいことがやれることを自由というわけではありません。それは自分勝手、あるいは自分中心であるにすぎず、本当の自由ではありません。まず、自由には責任が伴います。自分自身で選んだこと、決めたことを貫くために、責任が伴います。途中で投げ出したり、責任転嫁をしたりするのは本当の自由を求めていることにはならないのです。

一人一人違う人間を大切に、それぞれの人が持っている資質を重んじながら、それをさらに伸ばしていくこと、ここに本当の自由があるというのが立教の大切な伝統になっていると共に、立教の活動すべてに生かされているのです。このためには、真理へのたゆみない追究が不可欠のこととなります。

本年度より新たに本校の生徒となった皆さん、昨年度より引き続き本校にて学ぶ皆さん、中学から高校へ進学した皆さん、立教の伝統を実感しながら、今しか出来ない、人生のうちの大切な時間をよき取り組みのうちに過ごしていただきたいと思います。

皆さんの上に、神様の祝福が豊かにありますようお願いいたします。

(チャプレン 鈴木伸明)



## 11年ぶりに戻ってきました。

4月より立教新座中学校・高等学校チャプレンになりました西海雅彦と申します。久々に新座キャンパスに足を踏み入れての感想は、「ずいぶんと変わったなあ」ということでした。思えば11年前、6年間のチャプレンの任を終え、このキャンパスを後にしました。当時はまだ立教高等学校。大学生も多くはなく、キャンパスは広々としていたという印象がありました。ところが今はどうでしょう？ キャンパス内は、人と校舎で賑わいをみせています。名称も立教新座中学校・高等学校になりました。この11年の間の変化の大きさをつくづく実感しています。また正直、戸惑いすら覚えています。2度目のチャプレンとは言え、全く新任の思いです。

でも、変わってないものもありました。チャペルに入り、また鐘の音を耳にすると、時がよみがえってきます。世の中の変化に伴い、多くの目に映る部分は変化していきます。当然のことでしょう。けれども、同時に変わらないものもなければならぬと思います。立教においては、それはもちろんキリスト教という建学の精神です。このしっかりとした土台があるからこそ、135年もの長い年月を経た今日でも発展し続けているのだと思います。また久々に訪ねる者には安らぎを与えてくれるでしょう。変わらないものと変わるものの融合、ここに立教らしさがあると思います。

(チャプレン 西海雅彦)

### 行事予定 ～中学校～

5/1(金)	健康診断・体力測定
9(土)	創立記念礼拝、生徒総会
11(月)	中3校外研修旅行(～15)
13(水)	中2校外学習(理社)
15(金)	中2校外学習(理社)
16(土)	中3自宅学習
25(月)	中間試験(～26)
6/8(月)	中1理科校外学習
16(火)	朝霞地区大会(～18)
20(土)	授業公開(在校生保護者向け)
22(月)	授業公開(在校生保護者向け)
7/3(金)	期末試験(～6)
8(水)	スポーツ大会
14(火)	音楽鑑賞会
18(土)	終業礼拝、保護者学級会
20(月)	中1社会科校外学習
21(木)	夏季休業(～9/3)
22(水)	中1社会科校外学習

### 行事予定 ～高校～

5/1(金)	健康診断・体力測定
9(土)	創立記念礼拝、生徒総会
11(月)	高2校外研修旅行(～15)
16(土)	高2自宅学習
25(月)	中間試験(～26)
6/20(土)	授業公開(在校生保護者向け)
22(月)	授業公開(在校生保護者向け)
7/3(金)	期末試験(～8)
9(木)	体育祭、高1・2人権学習(～11)
18(土)	終業式
21(火)	夏季休業(～9/3)
31(金)	オーストラリア短期留学(～8/23)
8/1(土)	英国サマースクール(～18)

## キャンパストピックス

### スピーチコンテスト

3月18日(水)、高校1・2年生の英語スピーチコンテストが大学の講堂にて行われました。高2のテーマはMY APPEAL《私の主張》。各クラス2名、計16名の代表者が日頃の学習の成果を発表しました。その主張は、立教新座の文化祭について、テレビ番組についてというような身近な内容から、政治、環境問題を取りあげた内容など様々です。スピーチコンテストでは、その主張(内容)も大事ですが、話す態度、英語の発音、流暢さも審査のポイントとなってきます。今年はとても審査が難しかったとの総評があったように、皆、気持ちの入った素晴らしいスピーチでした。

では、その中で見事優勝した村田成弘君(現高3)のスピーチ原稿を掲載します。



### My appeal to cheering party of baseball

Hello, everyone. Today, I'd like to express my appeal to spectators at professional baseball game.

When I watch major league baseball on TV, I feel difference between major league and Japanese professional baseball. That is noise. In Japan, a cheering party makes noise by instruments like a trumpet. But American spectators don't make a cheering party. They support baseball team using only their hands, voices, and sometimes feet.

I like Japanese cheering style. I often go to stadiums and support my favorite team like this. But recently, I think this style has a few problems. So I'd like Japanese spectators to follow American spectator's example.

There are three problems with the Japanese style.

Firstly, noise of trumpet is very loud. It is offensive to the ear for some people. And this troubles many people living near the stadium.

Secondly, cheering party makes people feel in alienated. Party makes many rooter's song. They even make songs for each player.

Some fans know them, but much people of course don't. So they feel alienated.

Thirdly, the most serious problem is that this noise spoils original attraction of baseball game.

When I watched a major league baseball game in America a few years ago, I found a new way to enjoy a baseball game. I could hear the sound of hitting and catching the ball. I also heard fifty thousand spectator's exciting bunch of voices when Barry Bonds came on at chance. And it is not artificial sound like trumpet but natural sound.

I felt deep emotion. Japanese baseball doesn't have these sounds. I think it is original attraction of baseball.

So I think Japanese spectators should to follow American example. But I also think Japanese style is one of way to enjoy ballgame. So I suggest that organizers of games should make 'No trumpet day'. For example, organizer set this day at one week interval. It will make Japanese spectator found new way to enjoy ballgame.

Thank you for listening to my speech.

### マラソン大会

立教新座では毎年2月の中旬にマラソン大会を実施しています。昨年度までは埼玉県比企郡滑川町の国営武蔵丘陵森林公園で行われていましたが(昨年度は降雪により中止)、今年度からは新たに、さいたま市桜区の荒川彩湖公園へ場所を移して行われました。大会では公園内の彩湖1周5kmの周回コースを、高校1・2年生並びに中学3年生は2周(計10km)、中学1・2年生は1周走りました。

当日は季節外れの小春日和で、懸念されていた湖畔特有の強い風もなく、絶好のコンディションの中でのレースでした。これまで体育の授業やクラブ活動で練習を重ねてきた成果を発揮し力一杯走る生徒、友達と話しながら楽しく走る生徒、自分のペースで黙々と走る生徒。大きな事故や怪我もなく、生徒たちの普段教室では見られない表情や姿がたくさん見られた大会でした。

保健体育科 香取隆介



### 立教学院創立135周年

5月9日、立教学院は、1874年にウィリアムズ主教が築地に「立教学校」を開校してから135周年を迎えます。

この135周年にあたり、立教学院では「交流力」をテーマとした「立教未来計画」を立ち上げました。キリスト教に基づく全人教育をベースにこれからの立教学院がめざすべき未来の基礎作りを、この5年間で形にしていくプロジェクトです。

本校でも、老朽化・狹隘化した本館の全面立て替えや、木造体育館(第一体育館・総合体育館)の建て替えを行い、少人数教育の実現や多様な授業・課外活動の環境改善をはかる計画があります。

また、記念行事として小学校から大学まで、様々なイベントが企画されています。参加してみてください。



築地にあった「立教学校」

## クラブ紹介

4月10日、セントポールスタジオで中学1年生へのクラブ紹介が行われました。

各クラブの2・3年生がステージ上で活動中内容を説明し、僕たちのクラブに入部してください!とアピールします。よりクラブの雰囲気を伝えられるように工夫されたパフォーマンスが会場を盛り上げました。楽器を演奏してくれた吹奏楽部、簡単な実験をした理科部や、迫力ある試合形式で見せてくれたフェンシング部、日常のラリー練習を見せるも何故かラリーにならないという失敗がウケた卓球部など、新入生も楽しみながら真剣に見入っていました。

また、一年生にどんな技を見てみたいかと問いかけた柔道部の紹介では、たくさんの生徒が一斉に手を挙げて技のリクエストをしていました。

あどけなくも、活発で元気な今年の一年生。自分が興味のあること、挑戦してみたいことにどんどんチャレンジし、充実した学校生活を送って欲しいと願います。

これからどんなクラブに入り、どんな仲間たちと出会い、どんな経験があるのでしょうか。楽しみですね!



## 2009年度入試データ

### 中学入試

	第1回	第2回	帰国児童	
募集人数	約100名	約40名	若干名	
志願者数	2,246名	451名	8名	
受験者数	2,158名	359名	8名	
合格者数	976名	42名	2名	
補欠者数	92名	24名	—	
補欠繰上数	0名	0名	—	
合格最高点	240点	226点	104点	
合格最低点	160点	182点	70点	
補欠最低点	157点	174点	—	
教科平均点	国語	50.4点	49.9点	31.0点
	算数	44.6点	41.0点	21.1点
	理科	31.8点	26.0点	—
	社会	27.6点	31.5点	—

### 高校入試

募集人数	約80名
志願者数	1,296名
受験者数	1,245名
合格者数	620名
補欠者数	128名
補欠繰上数	93名



## 「卒業生の進路について」

今年度の卒業生(09.3月卒) 311名のうち、67名が他大学を目指しました(244名が立大)。国公立大学は9名(東大、筑波大、東工大、千葉大、北海道大など)、慶応大9名、早稲田大24名(延べ人数)という実績でした。この2・3年を比べても非常に優秀な結果となりました。東大への現役合格は数年ぶりです。またこれまでは東大に何人というのが進学実績で、東大がすべてでしたが、今年度は医学部への志向が非常に強くなり、医学部の合格者は8名(国公立4名、延べ人数)にも及びました。昨年度は2名でした。これは医学部の人数引き上げや医療問題など社会的な環境変化が反映しているかもしれません。今後も、東大よりは医学部という志向は続くような気がします(実学志向)。一般的に医学部や、東大、慶応大、早稲田大などの難易度や競争率はあまり変わらないので、良く健闘した結果ではないかと思えます。既卒者浪人も頑張って国公立10名、慶応大6名、早稲田大3名の結果でした。

この1年、進路担当となって大学のパンフレットや案内、そして塾からの冊子、ほとんどその整理に忙殺される日々でしたが、貸し出した赤本や資料が少しでも役立つ事ができたのなら、うれしいと思います。

教務部 進路担当 新田光昭

## 立教大学推薦者数

学部	学科	人数
文	キリスト教	0
	史	5
	教育	9
	英米文学	2
	フランス文学	1
	ドイツ文学	2
	日本文学	1
	文芸・思想	5
	計	25
経済	経済	25
	会計ファイナンス	15
	経済政策	15
計	55	
理	数	2
	物理	2
	化	0
	生命理学	0
	計	4
社会	社会	13
	現代文化	13
	メディア社会	13
	計	39
法	法	31
	政治	10
	国際ビジネス	11
	計	52
観光	観光	14
	交流文化	0
	計	14
コミュニティ福祉	福祉	1
	コミュニティ政策	0
	スポーツウェルネス	3
	計	4
経営	経営	18
	国際経営	13
	計	31
現代心理	心理	9
	映像身体	3
	計	12
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	8
合計	合計	244

卒業生総数 311名

## 2009年度 大学合格者数

大学名	総数	現役		
国公立	京都大学	1	—	
	千葉大学	2	2	
	筑波大学	1	1	
	東京外語大学	1	1	
	東京大学	1	1	
	東京工業大学	2	1	
	東京農工大学	2	—	
	一橋大学	1	—	
	弘前大学	1	—	
	防衛医科大学校	1	—	
	北海道大学	1	1	
	国立看護大学	1	—	
	新潟大学	2	—	
	横浜市立大学	1	1	
	ハンガリー医科大学	1	1	
	私立	金沢医科大学	1	1
		駒澤大学	1	—
		杏林大学	1	—
		慶應義塾大学	15	9
		国際基督教大学	1	1
明治薬科大学		1	1	
東京薬科大学		2	2	
埼玉医科大学		1	1	
城西大学		1	1	
上智大学		14	11	
慈恵会医科大学		1	1	
芝浦工業大学		2	1	
昭和大学		2	1	
昭和薬科大学		1	1	
成城大学		1	—	
聖マリアンナ医科大学		1	1	
中央大学		8	7	
東京理科大学		13	9	
日本大学		3	2	
日本医科大学		2	—	
日本歯科大学	1	1		
日本獣医生命科学大学	2	2		
法政大学	2	1		
明治大学	7	6		
早稲田大学	27	24		
立教大学	1	1		
合計	131	94		

4月1日現在